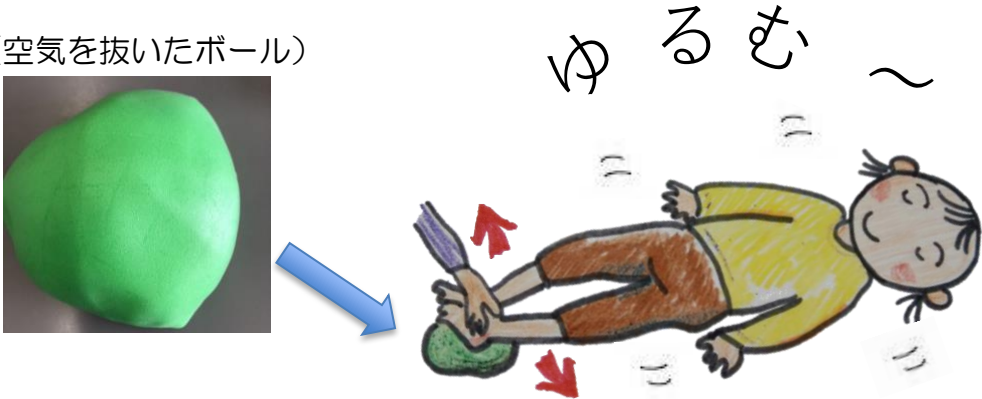



「キャンディーボール」

<p>名 称 (単元名)</p>	<p>からだをゆるめよう！</p>
<p>学部・学年 教科・グループ</p>	<p>小・中・高等部 自立活動</p>
<p>実践対象 学習者の特徴</p>	<p>肢体不自由 身体の緊張がある児童生徒 呼吸が浅い等</p>
<p>図・写真</p>	<p>(空気を抜いたボール)</p> 
<p>ねらい 使用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リラクゼーションを促す。(全身をゆるめる) ・ゆるんだ感覚を楽しむ。 ・指導者とのかかわりを楽しむ。 <p>①空気を半分ぐらい抜いたボールを仰向け姿勢の子どものかかとの下に入れる。②足の甲あたりに手をのせて、足首を左右にゆっくり揺らす(小さなゆれでよい)③子どもの表情や身体がゆるんでくると、腰や肩も弛んで小さく揺れ始めるのを観察する。④全身がゆるんだら動きを止め、しばらくゆるんだ感覚を楽しめるように待つ。</p> <p>*指導者の言葉かけは、ゆったりとした気持ちのよいトーンで楽しんでください。子どもの表情は見ながら、時には揺れを止めながら行うといいです。</p> <p>◎ボール2個使って…さらに空気を減らしたもう1つのボールを腰の下に入れて行くと、大きな揺れを感じることもできますよ。</p>
<p>素 材 作り方など</p>	<p>フェシリテーションボール (空気量を調整できる柔らかいボール) 直径 15cm 程度の小さめの物</p> <p>*100 均一店で購入できるストローで空気を入れられる栓付きのボールで OK!</p> 

使ってみて よかったポイント	子どもの表情がやわらぎ、からだが楽しそうである。外界にいる指導者への気づきや受け入れがよくなったり、指導者の言葉かけに対し子どもからの動きで応答が見られたりすること。
作成者	チェシャ